

# KMC 会員専用 KMC-Web 継続研修【とるたん】

## No. 01 F P 実務と倫理・1.5 単位

**KMC-Web 継続研修【とるたん】は KMC 会員専用の F P 継続教育単位取得テストです。以下のポイント学習・テーマ 1～10 を読んで後述のテスト 10 問に教えてください。60%以上の正答で表題の課目の継続教育単位が 1.5 単位取得できます。解答は WEB 上の KMC 会員サイトにある【とるたん】コーナーで入力します。是非、ご活用ください。**

### ポイント学習

#### テーマ 1：F P の 2 つの特徴

(NPO 法人日本 F P 協会テキスト F P 総論より)

ファイナンシャル・プランニングとは、個人の収入・支出、資産・負債、保障内容などに関するあらゆるデータを集め、必要に応じて専門家の協力を得ながら現状分析を行い、貯蓄・運用プラン、住宅取得プラン、教育資金プラン、老後資金プラン、生活保障プラン、タックスプラン、相続・事業承継プランなどパーソナル・ファイナンスに関するさまざまなプランを立案し、併せて実行援助と見直しをすることをいいます。簡単にいえば、生き方の異なる多様な個人のライフプランに応じたパーソナル・ファイナンスのプランニングをすることです。

このファイナンシャル・プランニングには 2 つの特徴があります。

第 1 には、ライフデザインとライフプランの実現がプランの目的となるという点です。この点でファイナンシャル・プランナーは単に資産を増やすだけの投資アドバイザーとは異なるのです。これに関してアメリカの CFP ボード (米国 CFP 資格認定委員会) では、「ファイナンシャル・プランニングとは、生活のさまざまな資金を適切に運用することにより、住宅の取得、子どもの教育の準備、あるいは豊かな老後への準備といった経済面の目標がはっきりしてくる、その過程そのものをいうものである。」と表現しています。

第 2 は包括的アプローチがとられるという点です。

顧客のライフプランを実現するためには、金融商品・保険・不動産・税金・年金・ローンなどの幅広い知識や、その前提となる金融や経済に関する知識も要求されます。ファイナンシャル・プランナーはこれらすべてに注意を払い、顧客にとって最良と思われるプランを提示しなければなりません。こうした様々な領域にわたる包括的アプローチが、税理士、弁護士、保険や不動産の専門家など、ある特定分野に特化した専門家達とファイナンシャル・プランナーを区別する最大の理由です。

また、こうしたファイナンシャル・プランナー自身に求められる知識の包括性ととも、

## 継続教育テスト 問題 - No.1 F P 実務と倫理

**【解答方法】 ⇒ 解答提出はFPKホームページ・KMC会員サイトで !!**  
以下の継続教育テスト【問題1～10】を解いて、解答番号をWEB上のKMC  
会員サイトにあるKMC-Web 継続研修【とるたん】ページの解答欄のページで  
入力します（KMC会員ページへのID・PWでログインできます）。「解答提出  
ボタン」をクリックすると自動採点され、60%以上の正答で合格、「履修証明書  
発行ボタン」が自動表示されます。証明書は一度だけの表示となりますので、必  
ず印刷して保管してください。合格の場合は、正解および解説も表示されます。  
その他、利用方法等の詳細はサイト内の説明をご覧ください。

**解答受付期間：平成24年1月15日～平成24年7月14日**

- ※ 上記受付期間を過ぎますとホームページ上の問題が削除され、  
解答できなくなりますので、期限内にご利用ください。
- ※ ホームページ上は問題のみでポイント学習は掲載されていません。

### 【問題1】FPの2つの特徴

ファイナンシャル・プランナーの宮内さんは、顧客に対して「ファイナンシャル・プランニング」について説明をしました。FPの2つの特徴について述べた次の1～4の文章の中から、最も不適切なものを1つ選んで下さい。

1. 「ファイナンシャル・プランナーは、お客様のライフプランを実現するために、金融商品・保険・不動産・税金・年金・ローンなどの幅広い知識を用いて、プランナー自身にとって最良と思われるプランを提示いたします。」
2. 「お客様から保険の見直しや資産運用など個別の分野に関する相談をお受けした場合、ファイナンシャル・プランナーはこれらの相談に対し個別の分野のプランニングだけでなく包括的なプランニングへとお客様を導きます。」
3. 「ファイナンシャル・プランニングとは、単に資産を殖やす投資だけの投資アドバイスではなく、生活のさまざまな資金を適切に運用することにより、住宅の取得、お子様の教育の準備、あるいは豊かな老後生活への準備といった経済面での目標をはっきりさせる過程そのもののことを指します。」
4. 「ファイナンシャル・プランナーは、お客様の資金ニーズとして主に住宅資金・教育資金・老後資金・不時の出費用資金等が考えられる場合、お客様の短期・中期・長期のライフプラン全体を考慮する包括的視野から、どの資金準備を優先するかを判断します。」